

練馬区の産業振興等に関する要望

新型コロナウイルス感染症による経営への影響について、行動制限の緩和により度合は和らぎつつあるが未だ経済活動は制約を受けている。また、円安の進行やウクライナ情勢の緊迫化により資源の高騰・コスト増加といった課題もあり、「K字」回復と言われるように、一部企業では回復が見られるがいまだに多くの企業で深刻な状況が続いている。加えて、コロナ禍で債務過剰に陥る事業者も増えてきており、経営者の高齢化や人材不足なども相まって、過去にない規模で休廃業が増加する危機が迫っている。このような状況下において区内事業者の経営改善や経営安定のため幅広い継続的な支援をお願いしたい。とりわけ練馬区においては次の各項目について取り組むよう求める。

I. 事業者支援に関すること

1. 資金繰り向上

(1) マル経融資利子補給の維持・拡充

国（日本政策金融公庫）のマル経融資は、商工会議所の経営指導を受け、経営改善に必要な資金を借入できる制度である。民間金融機関が主に取扱う都や区の制度融資（信用保証協会保証付）の枠を使い切った小規模事業者でも利用できるため、小規模事業者の資金繰りや経営改善に重要な役割を果たしている。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者に対しても、事業継続のために通常とは別枠で低利の融資を実施するなど、最後の拠り所としての機能を果たしている。

については、東商練馬支部が取り扱うマル経融資に対して、次の2点について取り組むことを求める。

- ①練馬区が補助している従来のマル経融資への利子補給（40%）の継続と、さらなる拡充（50%）
- ②利子補給期間を3年から5年へ延長

※23区でマル経融資に対し利子補給の取扱いがあるのは14区（中央・港・新宿・北・品川・大田・世田谷・中野・板橋・練馬・江東・墨田・足立・葛飾）で、その内の2区（中野・葛飾）は50%の利子補給を行っている。

(2) 練馬区制度融資の拡充

新型コロナウイルス感染症及びウクライナ情勢や原油・原材料価格高騰等により事業活動に影響を受ける区内中小企業を支援するものとして、マル経融資制度に加えて、既存の区の制度融資において、次のとおり制度拡充を求める。

- ①貸付期間について、融資額が1,000万円以下でも一律10年以内（据置24か月以内）へ延長
- ②利子、保証料について、区が全額補助

2. 人材確保に向けて

(1) 「ワークサポートねりま」の支援メニューの充実

コロナ以前から中小企業が抱えてきた慢性的な人手不足は依然として課題であり、業種問わず広く支援いただきたい。特に人手不足の解消に向けて、区内在住・在学者からの採用や多様な人材の採用を希望する声もあり、「ワークサポートねりま」において、区内事業者の採用募集情報の提供や求職者へのセミナー開催、企業側の社会保険などの労務相談、面接会の開催など支援メニューを充実していただきたい。

※他区の事例

世田谷…世田谷区産業振興公社「三茶おしごとカフェ」

板橋…青少年自立援助センター「いたばし若者サポートステーション」

(2) 事業承継支援体制の充実

経営者の高齢化が進む中、これまで事業者が築いてきた価値ある事業を、円滑に次の世代または第三者などに引き継ぐことが重要な課題となっている。また、新型コロナウイルスの影響により廃業を検討する事業者の増加が予想される中、日々の事業活動が優先され事業承継の準備は後回しになっていることも多い。「特例承継計画」の提出期限が迫っていることもあり、早期の対策が求められている。こうした現状を踏まえ、次の3点について取り組むことを求める。

- ①事業承継税制の利用促進に向けた周知活動強化
- ②令和5年3月末までに東京都への提出が必要な「特例承継計画」策定の支援（ネリサポでの継続支援）
- ③東京商工会議所の事業承継支援の拠点となっているビジネスサポートデスク（BSD/都内4拠点）、および東商が経済産業省より受託している東京都事業承継・引継ぎ支援センターとの連携強化とネリサポにおける事業承継相談の充実

(3) 練馬区の事業実施時における外部人材の登用

練馬区実施事業について、外注ではなく、区内に、外的な知見を有する職種や人材の登用をすることで、柔軟でスピード感をもった施策の立案を求める。

3. 原材料費・燃料費等の高騰における事業者支援

ウクライナ情勢により資源・エネルギー価格が高騰する中で、カーボンニュートラル実現に向けた動きが加速しており、大企業に限らず中小企業にとっても、脱炭素や環境に配慮した経営が求められている。一方で、多くの中小企業において、自らのビジネス環境への影響や対応方法についての理解が進んでいない。

また、原材料費、燃料費の高騰が続くが、中小企業では高騰分を価格に転嫁できていないことが多い。コスト増加分を価格に転嫁した「適正価格」での取引が行われな限り、中小企業の価値創造、生産性向上の実現は困難である。

こうした現状を踏まえ、東京商工会議所事業をはじめとする以下内容への理解と支援を求める。

(1) エネルギー高騰への対応支援

- ①2030年排出炭素を半分にするための投資環境の整備
東京都が推進する「HTT<H減らす・T創る・T蓄める」の周知協力の強化、事業者の「節電・省エネ」に向けた取り組みを支援
- ②eco検定の受験推進、サステナビリティ推進への支援
区内事業者におけるeco検定団体受験の際の受験料補助、周知呼びかけなど

(2) 原材料費、燃料費、人件費などの高騰への対応

- ①政府が推進するパートナーシップ構築宣言への企業登録の促進と、登録企業の優先契約・発注など強力な推進
- ②区政事業発注に際し適正で柔軟な価格転嫁

4. 事業者のキャッシュレス化支援

利便性の高さからキャッシュレス化を望む消費者が増える一方で、システム導入による煩雑さや費用、人員不足からいまだキャッシュレス化への対応が遅れている店舗がある。

そのため、区内小規模事業者におけるキャッシュレス導入を促進する事業の充実を求める。

II. インフラの整備に関すること

1. 主要交通の安全確保

練馬の西部地域は南北交通の主軸となる道路が少なく、上石神井道路などは往来も多く危険な状態である。また、道幅の狭い踏切や幹線道路からの抜け道利用など、次の4点について見直しや取り組むことを求める。

- ①上石神井道路を中心とした西部地域の一部を「モデル地区」として、自転車・歩行者の妨げになる電柱問題の解消（地中化）とともに車歩道区分を明確にするなどの安心・安全な環境を早期に整備すること。
- ②抜本的な改善のため、外環地上部および補助135号線の早期事業着手に向けて、東京都への働きかけを強めること。
- ③西武新宿線については、狭い踏切が多く、特に朝夕のラッシュ時は歩行者や自転車の走行が危険なため、連続立体交差化に向けて関係機関に働きかけること。
- ④主要幹線道路からの抜け道である区道について、特に夕方の時間帯、子供たちの下校時間と重なり事故の危険がある。警察署への交通規制の見直しを働きかけること。

2. 都営大江戸線の整備について

都営地下鉄の大泉学園町までの早期開業や、さらには西大泉付近に配慮した延伸を働きかけてほしい。

また、光が丘駅の乗降客の利便性を確保するため、延伸後も、光が丘駅始発の電車を残すこと。

III. 観光振興に関すること

新型コロナウイルス感染症の影響により観光需要は大きく落ち込み、特にインバウンドについては回復に時間がかかることが予想される。一方で中長期的には観光需要を取り込むことは重要な課題であり、練馬区においては、豊島園跡地の開発や練馬区名誉区民で日本の植物分類学の父といわれる牧野富太郎博士などがNHKの朝ドラに取り上げられることを契機として、さらなる観光客・来訪者の呼び込みを強めることが可能である。そこで、次の3項目について取り組むことを求める。

1. 豊島園跡地の再開発を契機とした回遊性の向上

- ①区内における既にある個々の観光資源の価値や魅力を再確認し、新しい需要・観光客に魅力的なものになるようにすること
 - ・大泉学園を起点としたアニメ、漫画、映画の街としての発信強化
 - ・区立牧野記念庭園における見学ガイドの充実
- ②観光資源・地元産品などの情報の多言語化支援
- ③観光情報のアジア主要国への発信・PR活動
- ④既存リズムジンバス路線の一部変更（スタジオツアー施設立寄りルート）、成田空港路線の新規開設
- ⑤練馬区内の移動手段の充実にかかわる支援
 - シェアサイクルのポート増加、電動キックボード等小型車両への対象拡大、路線バス停の屋根設置の増加
- ⑥豊島園駅前またはスタジオツアー施設内に観光案内所を新設
 - 観光案内所資料の多言語化、多言語での案内・情報発信の強化
- ⑦スタジオツアー運営会社と地元事業者との連携への橋渡し
- ⑧観光庁の「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」の活用

2. 練馬区への来訪者増加に向けた取り組み

- ①関東圏および全国の自治体・観光団体との連携推進
- ②ビジネス需要の取込み
 - 空き家を活用した創業者向けの低廉なオフィス、店舗、テレワークスペースの提供等
- ③文化・芸術・スポーツ等を核とした区内観光の促進

3. 練馬野菜の販売や練馬区 PR のための「道の駅」開設

東京 23 区のなかでも、都市型農業の先進地区であり、練馬区の基本方針でも「農業振興計画」などから地産地消の支援などが挙げられていた。「とれたてねりま」などのアプリにより区民の購入が便利になってきたが、区外や近隣県からも練馬野菜をはじめとした特産品を購入いただくべく、大泉ジャンクション付近の外環道外部や街路の土地活用として、道の駅の開設を求める。

以 上